

山田みき

活動ニュース 令和4年夏号

令和4年度予算が成立しました。去る2月18日に衆議院予算委員会集中審議で質問に立ち、原油価格の大幅な上昇、コロナ第6波への対応など都心が抱える問題とともに、納税や医薬品安定供給、外国人労働者問題などを取り上げました。ロシアのウクライナ侵攻による日本経済への悪影響が懸念されるなか、コロナ禍の克服と日本経済の立て直しが急務です。地域の皆様とともに、直面する課題に全力で取り組みます。

緊迫するウクライナ情勢に対応して、原油価格高騰への早急な対策を要請

ウクライナ情勢の緊張感の高まりもあり原油価格が7年ぶりの高値水準となっており、コロナ禍からの回復に大きな悪影響を及ぼしています。今後あらゆる事態に備えるため、既に実施中の激変緩和対策や業種別対策を大幅に拡充するよう訴え、岸田総理から検討を加速するとの答弁をいただきました。

確定申告期限の恒久的な延長、インボイス制度導入に関し丁寧な対応を要望

確定申告期限の1ヵ月延長は、昨年・一昨年は一律、今年は個別申請で認められた現状を踏まえ、将来は恒久的に申告期限を4月15日とするよう要望。鈴木財務大臣からは、パソコンやスマホを活用した申告事務の簡素化に務めており、市町村の事務に与える影響も踏まえながら慎重に検討するとの回答でした。昨年10月から開始されたインボイス事業者登録については、免税事業者の不安を払拭するために、よりきめ細やかな対応策の必要性を訴えました。鈴木財務大臣から、円滑な移行のために十分な経過措置を設けるとともに、IT導入補助金や持続化補助金による支援、独禁法や下請法による取引環境整備などの取組を丁寧に進めるとの答弁をいただきました。

変異株の特性に合わせた柔軟なコロナ対応、歯科医療への支援を要請

①軽症者への医療負担の軽減と、②高齢者施設等への対応の重点化を、後藤厚生労働大臣に要請。政府は①HER-SYS入力 of 簡素化や、②高齢者施設への看護師派遣の補助単価の引上げや、施設内療養のかかり増し経費に対する補助の増額等対応を講じる、との説明がありました。また、コロナ禍により経営が逼迫している地域の歯科診療所に対して、国が手厚い支援を行うよう強く要望しました。



医薬品安定供給と薬価制度見直し

昨年の薬価の中間年改定は、当初の方針とは異なり対象範囲を乖離率の大きな品目に限らない大幅な改定となり、地域の小規模薬局の経営ひっ迫や医薬品の研究開発費が回収できないなど安定供給に悪影響を及ぼしています。今後の中間年改定は、対象範囲を改めて検討するよう後藤厚生労働大臣に申し入れました。

海外から新薬が入ってこなくなり日本からも新薬が生まれない、負のスパイラルが始まりつつあります。薬価を社会保障費抑制のための調整弁と捉えるのではなく、創薬国として日本の国際競争力強化を見据えた産業政策の視点にこれまで以上に重きを置くよう、岸田総理に強く訴えました。





月に数回、
更新しています。
お時間ある時に、
ぜひご覧ください



衆議院議員
山田美樹
ホームページ

活動ブログより

衆議院法務委員会にてウクライナ避難民の受入れを要請

6年前、チェルノブイリ原発敷地内で開催された事故後30年の追悼式典に出席しました。ロシアも含め各国の関係者が一同に会して犠牲者の記念碑に花束を捧げ、二度と悲惨な事故を起こさないと誓ったにもかかわらず、今回、原子力発電所が攻撃・占拠されたことは許されない暴挙だと感じています。日本への退避を希望するウクライナ避難民の方々に対し、一刻も早く、**受け入れに向けた具体的な手続について示すよう、古川法務大臣に申し入れ**しました。



R4.3.9.



R4.3.9.

日本の国際競争力強化に向けて「攻める法務省」へ

2000年前後からアジアのハブになっていた香港が事実上の中国化に伴って、国際ビジネスの急速な脱出が進んでいます。避難先としてシンガポールと日本がライバル関係にあります。日本の国際競争力強化のために、国際ビジネスにとって魅力的なインフラ整備が急務です。

法務省の取組が、日本市場の国際的ハブとしての復活のための大きな鍵を握っています。①**日本法令の外国語訳の整備**、②**各種申請・届出の英語化**、③**国際仲裁のインフラ・法制度整備を、法務当局に強く要請**しました。

住宅と街づくりを通じて、未来の東京をつくる

自民党住宅土地・都市政策調査会（松島みどり会長）の事務局長を務め、
①**空き家対策**、②**ご高齢者など住宅の確保に配慮が必要な方々への対策**、
③**街づくり**をテーマに、都市部が抱える課題の解決に取り組んでいます。
少子高齢化が進み、既存建物の老朽化と空き家の増加が問題となるなか、
コロナ禍を契機とした新しいライフスタイルへの対応、温暖化対策、災害
対策、デジタル化への対応など多様な視点から検討を進めます。



R4.3.22.



R4.2.24.

ファッション・アパレルの環境問題に取り組む

自民党環境・温暖化調査会（井上信二会長、小泉進次郎会長代行）の下に『**サステナブルファッションプロジェクトチーム**』が設置され、かつてファッション・アパレル業界に勤めていたご縁から座長を務めています。アパレル業界は、コロナ禍で大きな経済的被害を受けた業界のひとつです。「サステナブル」という新たな視点から、消費者の方々にファッションの喜びや楽しさを感じていただき、日本のアパレル産業のさらなる発展に繋がりたいと願っています。

コロナ感染状況が収まり次第、講演会やミニ集会、国会議事堂などの見学会を再開いたします。お気軽にお声掛けください。

■山田みきプロフィール

1974年3月15日東京都生まれ。東京大学法学部卒、コロンビア大学経営学修士（MBA）。通商産業省、内閣官房を経て、ボストンコンサルティンググループ、エルメスジャパンに勤務。第46回衆議院議員総選挙で東京1区（千代田区・港区・新宿区）から初当選。第三次安倍改造内閣にて外務大臣政務官を務める。現在、当選4回。自民党法務部会長。衆議院 法務委員会理事、財務金融委員会、政治倫理の確立及び公職選挙法改正に関する特別委員会。

■山田美樹 国会事務所

〒100-8982 東京都千代田区永田町2-1-2
衆議院第二議員会館917号
TEL: 03-3508-7037 FAX: 03-3508-3837

山田みきさんの活動はホームページやSNSで発信中！



HP



Twitter



Facebook



Instagram